

ASHBi
RESEARCH ACCELERATION PROGRAM



Institute for the Advanced Study of Human Biology
京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点

ASHBi
RESEARCH ACCELERATION PROGRAM

Contact

〒606-8501
京都市左京区吉田近衛町
京都大学医学部キャンパス 医学B棟1階
ヒト生物学高等研究拠点 (WPI-ASHBi)
リサーチアクセラレーションユニット



TEL: 075-753-9880
E-mail: ASHBi-acceleration[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
[at] を @ に変換下さい。
URL: <https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/ja/>



FIRST
CONTACT
PROGRAM

Where New Ideas Meet
イノベーションへつながる知識交流

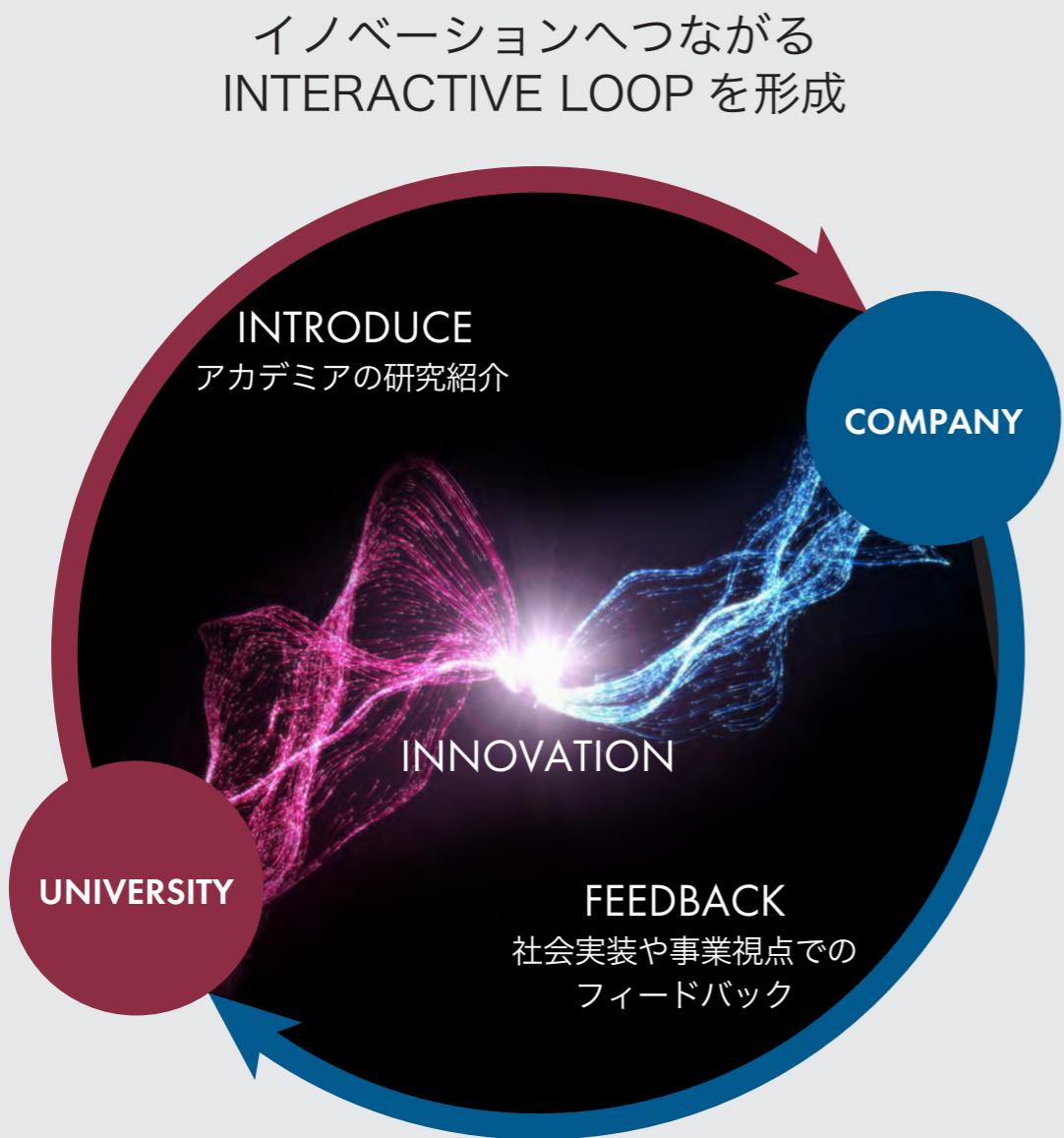


京都大学



Institute for the Advanced Study of Human Biology (WPI-ASHBi)
京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点

ファーストコンタクトプログラムとは？



「一方向」から「双方向」へ 若手研究者の知識交流コミュニティ

京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点(以下、ASHBi)が実施する「ファーストコンタクトプログラム」は、研究の最前線で活躍する准教授～ポスドククラスの若手研究者がアカデミアの研究を紹介し、企業の研究開発の最前線で活躍する中堅・若手研究者が社会実装や事業視点からのフィードバックを提供、その活発な双方向の議論の中から新しい気づきや刺激を得るということを目指した知識交流セミナープログラムです。

本プログラムは、発表中であっても疑問に思ったことはその場で議論する、というインタラクティブ形式で実施。従来のセミナーで見られる「一方向」の知識の流れではなく、質疑が次の派生的な質疑を生みだす「双方向」の議論を通じて、全体で気づきや学びを共有する場を形成します。大学と企業の若手研究者が、活発な議論を通じた相互刺激や気づきに加え、将来的なイノベーションにつながる新たなアイデア発見やネットワーク構築を行う知識交流のコミュニティを醸成します。

1 企業と大学、 双方の若手研究者に メリット



【企業研究者】
アカデミアの研究に触れる
国際的な研究競争の第一線に立っている
若手研究者との議論を通じて、研究知見
が直接得られます。
また、分野外の若手研究者との議論では、
社内では得られない新しい視点やアイデ
アなど、次のイノベーションに向けた刺
激を得ることも可能です。

【大学研究者】 社会実装や事業視点での フィードバックを得る

インタラクティブな議論を通じ、社会
実装や事業化といったアカデミアにはな
い視点でのフィードバックが得られます。
また、質疑や発表内容のフィードバックを
通じ、研究への多角的視点や新たな課題
の発見につながる機会を提供します。

将来のイノベーションへ向けた ヒントやネットワーク

イノベーションサイクルが短縮化された
現在では、自社の枠にとどまらない柔軟
で広い視野が企業研究者に必要となります。一方、大学研究者は、研究の更なる
発展につながる応用可能性を発見するこ
とが重要となっています。

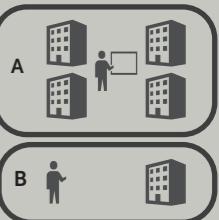
活発な議論を通じ、将来のイノベーション
の萌芽を発見・醸成するコミュニティ
作りを目指します。

2 ファーストコンタクト プログラムの具体的な流れ

実施方法は2方式

A コミュニティ方式：複数社が
参加し、企業同士の交流も深ま
ります。

B 単独方式：1社単独のため、
より深い議論につながります。



研究者選定と招聘手続



セミナーを依頼したい場合は、
まずご相談ください。ご希望に
基づき、若手研究者を紹介しま
す。なお、若手研究者は招待講
演者として招聘いただくようお
願いいたします。

異分野も理解し易い研究発表



講演者には、自身の専門領域の研究背
景と最近の研究成果を、他分野の研究
者の方々にも分かり易く発表するよう
依頼しています。発表中に随時質疑を行
うインタラクティブ形式で、分かり
にくい点はその場で解決しつつ、そこ
からのさらなる派生的な議論へ繋げ
ることで、相互理解を深めます。

発表内容へのフィードバック

企業研究者の方には、研究内容への
コメントを所定の用紙に記載いただく
ようお願いします。フィードバックを
通り、研究の新展開や新たな課題の
発見などへ繋げます。



3 京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) とは？

本プログラムを主催する、京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) は、世界から
第一線の研究者が集まる「目に見える研究拠点」を形成し、日本の科学技術水準を維持・向上させ
ていくことを目的とした、文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム（以下、WPI）の拠
点として2018年に設立されました。ASHBiでは、拠点長の斎藤通紀を中心に、国内外から優れ
た17名の主任研究者 (PI) を集め、我々ヒトに付与された特性の獲得機構とその破綻による病態発症
の原理を究明する目的のもと、新しいヒト生物学の創成を目指した研究を行っています。

また、ASHBiでは、最先端の実験機器の整備やオープンで国際的な研究環境の構築に加え、若手や
海外研究者の研究力強化へ繋げる研究支援を目的とし、リサーチアクセラレーションユニットを設置
しています。本ユニットでは、研究者の個別支援に加え、ファーストコンタクトプログラムを始めと
した様々な研究者育成プログラムの企画・運営を行っております。詳細は以下のURLを参照ください。

リサーチアクセラレーションユニット URL: <https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/ja/acceleration/>

